

令和5年度 特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（56） 学校名 豊田市立中山小学校

1 テーマ

笑顔と元気があふれる学校づくり

～「中山大好きっ子プロジェクト」 学び合い・高め合う活動を通して～

2 ねらい

- ・食、自然、地域に関わる体験活動を通して、児童の学びの充実を図る。
- ・児童自身が学ぶ楽しさを実感でき、自他のかけがえのない存在に気付くことができる授業づくりを目指す。
- ・いろいろな職種の方々との交流を通して、子どもたちの将来に向けての視野を広げる。
- ・安心して過ごせる学校にするため、教育相談活動を充実させる。（心の相談員との連携）
- ・学校園や花壇の環境を整えることで、安心して野外学習ができる場としての活用を図る。（校内整備員の活用）

3 活動内容

（1）さわやか学習（生活科・総合的な学習）と学びの発信

- ・野菜や花の育成
- ・収穫した野菜の販売（特別支援）

（2）米づくり体験（5年生）

- ・農作業体験、地域講師との交流

（3）いろいろな職種の方々との交流

- ・サークル活動（4～6年生）

児童へのアンケート調査をもとに設定した13のサークル活動において、地域の方を中心に、様々な分野で活躍している方々を講師に招き、年間を通して課題追究などの学習活動を実施した。

①特産品、②ダンス、③地域発見、④テーマソング、⑤伝統芸能、⑥アート、⑦手芸
⑧映像、⑨プログラミング、⑩写真、⑪マジック、⑫バルーンアート、⑬学校開発

4 成果と課題

（1）成果

- ・学年ごとに計画された学習活動は予定通り実施することができ、取組の成果を10回以上、学校ホームページや学年通信等で発信した。
- ・収穫した野菜は、学校公開日等で販売した。販売は特別支援の児童が担当し、接客やお金のやりとりなどを学ぶ機会となった。保護者にも好評で、毎回売り切れていた。
- ・年間を通して取組をおこなったサークル活動では、中間発表として地域のお祭りである「藤岡南ふれあいフェスティバル」で発表する機会をもった。子どもたちの発表を楽しみに来場した保護者も多く、昨年度と同様、非常に多くの参加者があった。

サークル活動（年間16回）の1年間のまとめとして2月17日の学校公開日に発表会を行う予定である。学びの様子については、適時学校ホームページに掲載した。

- ・心の相談員を活用し、子どもたちの抱える悩みや問題の早期発見に努めた。必要に応じて、心の相談員やSCを交えて情報交換を行い、早期対応を心がけた。心の相談員とSCが連携して子どもや保護者の困りごとなどに対応した中で、虐待の疑いがある事案として子ども家庭課および児童福祉センターへの通告を2件おこなった。
- ・校内整備員を活用し、学校園や花壇の整備を行った。また、野菜や草花を育てる活動に先立ち、土壌の整備を行った。
- ・5年生の米作りで収穫したお米は調理実習等で活用したが、収穫がかなり多かったため使いきれないお米が150kg以上あった。このお米の活用方法として、学校公開日に小分けして販売し、その収益を能登の地震で被災した方々に寄付することが児童の発案で実施されることとなった。こうした声が子どもたちからあがったことを大変うれしく思っている。

（2）課題

- ・サークル活動では、担当教員が児童の管理を行い、講師が技術面等の指導をするということになっているが、児童の管理まで講師に任せてしまう場面が何度か見られた。再度教員の担うべき役割について徹底させたい。
- ・校内整備員が非常に熱心に仕事を進めていただいたので、学校園（畑）や花壇の整備が想定以上に進んだ。その反面、学年に割り当てられた学校園（畑）の手入れを校内整備員に任せてしまっている学年が見られた。野菜等を栽培する目的を明確にして、責任をもって取り組ませるよう意識をもたせることが必要であると感じた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・年度初めに学校ホームページを通して活動計画を示した。
- ・活動ごとに学校ホームページや学年通信、学校だより等で活動の概要を発信した。
- ・学校公開日や地域の行事で学習成果の発表の場を設けるなどして、特色ある学校づくり推進事業の取組に関する発表を行った。